

にっぽんGメン 特別武装班出動（1956）

メディア 映画

ジャンル サスペンス ミステリー

製作国 日本

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1956/07/25

公開情報 東映

【解説】

春万作によるオリジナル脚本をもとに「薄雪太夫より 怪談 千鳥ヶ淵」の小石栄一が監督した。撮影は「無法街」の星島一郎、音楽は「薄雪太夫より 怪談 千鳥ヶ淵」の飯田三郎が担当。「満ちて来る潮」の波島進と「大学の石松」の高倉健が主演を務めた。

大井町近くで精巧な偽札が発見され、警視庁に捜査本部が設けられるが、それは印刷所を営む井原が作成した映画用の小道具だったことが判明する。だが井原は密輸団に誘拐・脅迫され、本当の偽札を作ることに。一方、偽札作りで前科のある塩谷が殺されたことから、佐上課長をはじめ捜査メンバーはさっそく動き始める。再び偽札が流通し始め、笠野刑事は偽札を使ったサングラスの女を尾行するが惨殺されてしまう。

【クレジット】

監督 小石栄一

企画 吉野誠一

脚本 春万作

撮影 星島一郎

美術 藤田博

音楽 飯田三郎

出演 波島進

高倉健

高木二郎

伊藤久哉

堀雄二

浦里はるみ

萩京子

加藤嘉

小沢栄